



先見未上昔のたり

に思はず長年以てし

思慮の存に其能の融

十上は而揮毫一筆既

に頂戴したる上と甚

だ我所一語著しは伝得

堂との而作又は之に類し

たる貴兄の而境島上より

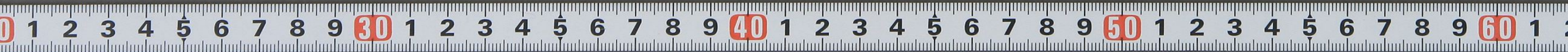
の生想と表せしむるの

を而認めらるるに在る

左殿二枚を一本一枚

は孫傳の程しむる二枚

を而傑筆とらるる獨更



左殿二枚
右殿二枚
何部
獨更

州
小
名

十
三
日

陳
重

杉浦先契

研
北

杉浦重剛様

新
様

東京市本区
總積陳重